

村の世帯・人口

昭和51年12月末日現在

総世帯数 3,364戸

人口 14,457人

男 7,365人

女 7,092人

12月の人口移動

出生 26 死亡 13

転入 115 転出 88

婚姻 23 離婚 1



広報にしはら



羽ばたく成人式より

発行所
西原村役場

電話(09894) ⑤ 5011
5012
5013

印刷
西原印刷

一、村政情報

- ① 已年に羽ばたく成人者
おめでとう……………1
- ② 勇壮に出初式……………2
- ③ 二月一日から緑の羽根
募金運動始まる……………2
- ④ 新春名刺交換会……………3
- ⑤ 昭和五十一年の人口移
動状況……………3
- ⑥ 昭和五十一年の消防、
救急出動状況……………3
- ⑦ 昭和五十一年の予防接
種状況……………3

二、村民の広場

- ① 注目される料理展示会
― 第四回目を数える ―……………4
- ② 西中女子卓球チーム準
優勝―昭和五十一年度―
県中学生卓球選手権……………4
- ③ 村老人学級生の皆さん
卒業おめでとう……………5
- ④ 坂田小の喜屋武清教諭
― 学校保健に関する功
績で表彰……………5
- ⑤ 婦人学級も閉級式……………5
- ⑥ 西原小家庭学級閉級式
終る……………5

三、告知板

- ① 高齢年金の受給者の皆
さん現況届は済みまし
たか……………6
- ② これからの飼料の取扱
いについて……………6
- ③ 確定申告のお知らせ……………7
- ④ 国民年金特例追納につ
いて……………7
- ⑤ 県政ひろば開催につい
て……………7
- ⑥ 妊産婦の方は抗体検査
を受けましょう……………7
- ⑦ 二月二十四日慰霊祭
― 北海道遺族団主催……………7

水道課に電話が入りました 5 — 4 9 3 4

村政情報

巳年に羽ばたく成人者

おめでとう

新年を迎えて、しばらくすると新しく大人の仲間入りをする二〇才の青年男女の成人を祝う式典が、各市町村で行われます。

本村でも一月十五日、午後一時から、村役場ホールで成人式が行われました。

本村の今年の成人者は二六一名で男、一三七名、女、一二四名。

式典には約二〇〇人の成人者が出席し、例年にないにぎわいを見せました。

した。

与那嶺教育委員長の「……ますます豊かな教養を身につけ、身体を練り世界のどこへ出しても恥かしくない程の民主的な常識を備え、もって平和と国家日本の建設のために、地域社会の発展のために御活躍を期待する」と暖かい式辞を受け、その後、宮下村長外來賓の祝辞が送られました。

多くの先輩諸氏の列席のもと成人式を迎えた二〇〇人余の成人者は明るい表情で嬉しう、その成人者を代表して、翁長出身の新垣邦彦さんが「……よき社会を築いていくために、若者らしく堂々と元気いっばい、まいしんしたい」との謝辞を行いました。

その後、県社会教育主事の宮城英次先生の「青年と社会生活」と題する講演が約一時間にわたってなされ、多くの示唆に富んだ内容で、成人者のみなさんは真剣に聴き入っていました。

式典終了後、ただちに交流会に移

り、準備されたオードブルをつまみながら成人者のみなさんは、同級生と、あるいは先輩のみなさんと七時すぎまで話したり、踊ったり有意義にすごしました。最後は村青年教室生のアイデアでキャンドルサービスが行われ、成人者のみなさんは、それぞれ意義ある一日を、ローソクの火をみつめながら反省し散会して行きました。

若い青年たちの大人への仲間入りは村の新しいエネルギーであり、それだけに村民の期待も大きい……。

(祝)
(辞)

村長 宮 平 吉太郎

昭和五十二年の輝かしい新春を迎え、ここに第十五回の成人式が挙行されるに当り、謹んでお祝いのことを申し上げます。

本日、めでたく「成人の日」を迎えられた二六一名の皆さんおめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

さて、皆さんは、過去二〇年間に亘る幼少時代をご両親を始め周囲の方々の深い愛情と指導のもとに成長なされ、本日、法的にも社会的にも完全な行為能力をもつ一人前の自覚ある立派な大人として認められたのであります。この喜びと感激は終生忘れることのできな貴重な人生体験であり、このことは、たゞ大人になったという観念的なものではなく日本国民として、豊かな教養と高



盛況の成人式典会場

い知性を身につけ平和民主国家の建設に自ら責任ある言動をする社会人になったことを認識し自覚すること。に真の意義があると思うのであります。さて、内外の情勢をみましても、石油ショックに端を発し、エネルギー危機、物価騰貴、物不足等で一種の社会的なパニック状況がおり、加えて本県は、海洋博後の経済の落込みによって、不況、企業倒産、失業等多くの経済不安と社会不安がおこり、厳しい現実を直面し、極めて試験の世代が予想されますが、皆さんは、このような物情騒然とした中に二〇代の夜明けを迎えたのであります。次代を担う諸君は、激動する社会を的確に見分け、人類無限の可能性を信じ、豊かな夢のある人間環境を創造する心情で忍耐強く、自己の責任において行動する若者として、たくましく成長されんことを希望するものであります。

さて、本村も近年、人口の増加、企業等の進出により地域が変容し、都市化の様相を呈しておりますが、西原高等学校の設立を始め、琉球大学の移転とあいまって医学部の設置も予定されておりますので、文字通り本村は、学園都市としての飛躍的発展が約束され、村民に大きな希望を与えと共に、このことは沖縄の教育、文化、医療の行政等の推進発展に寄与するものと確信を致す次第でございます。どうか皆さん初心を忘れることなく、地域社会発展の原動力になり、益々自重自愛、ご精進あらんことを切望してやみません。

尚、来賓の皆様には、時節柄、ご多忙中の折ではございますが、ご臨席を賜わり若人達の新し出発を祝福、激励して下さいまして、誠にありがとうございます。どうか、大海原を目ざして羽ばたく、前途洋々たるこの若人達を尚一層、ご指導ごべんたつを賜わりますようお願い申し上げます。

最後に迎えました巳年が皆さんに

取って希望にみちた実のある躍進の年でありますよう心から祈念し私の

祝辞と致します。

昭和五十二年一月十五日

勇「壮」に「出」初「式

新年の巳年は火事や事故などもなく住みよい、幸せにみちた年になるよう、祈願をこめた出初式が一月六日に役場広場で行われました。

出初式は宮平村長外、関係職員が多数見守る中で行われ、機具点検、車輛点検等の後、ポンプ操法の基本及び応用が披露されました。又、今年には二連はしごの訓練も実施され、拍手喝采を受けました。出初式は、最後に、訓練礼式の後、

宮平村長の服装点検を受け、その後村長は「今年も、村民の生命、財産の安全と保護のために、日夜、ふんとうしていただきたい」と訓辞を述べ無事終了しました。

火事、急患は一秒一刻を争います。兼久、与那城、我謝、桃園、池田地域の方は(五)一五〇一五その他の地域は(一)一九番へ電話をしましょう。



かけ声も勇しく、二連はしごの訓練

2月1日から緑の羽根募金運動始まる

緑の少ない沖縄県、と言われる私達の郷土にも毎年、植樹が行われ緑化が進んで、一歩一歩、住みよい環境作りがなされています。

今年も、緑豊かな佳みよい環境作りのため、緑の羽根募金運動が例年より一月早く、一月一日から二八日にかけて行われます。

や水を浄化し、水源を豊かにし、台風や干ばつなどの災害から郷土を守り、なごやかな楽しい生活と、美しい県土を築くための緑化運動の資金になるものです。

昨年の募金実績は二、二九〇万円でした。今年の募金目標は二、五〇〇万円です。

私たち西原村の昨年の募金実績は九七万円と、多くの村民、会社等の協力がありました。今年も、それを上まわる御協力をお願いします。各家庭には、すでに各々の区長さんを通してチラシや、緑の羽根の募金呼びかけがなされています。

この緑の羽根の募金は、汚れた空気

昭和51年の予防接種状況

月日	予 防 接 種	備 考
1月17日	D P T	3回目
24日	D T	4 期
4月10日	D P T	1回目
5月8日	ポリオ	1回目
5月29日	D P T	2回目
6月12日	D P T	3回目
6月20日	狂犬病	
27日	〃	
8月23日	ツベリクリン接種	
25日	B C G	
10月28日	はしか	
11月20日	D P T	1回目
21日	狂犬病	
25日	インフルエンザ	西原小
26日	〃	坂田小
27日	〃	西原中
28日	狂犬病	
12月4日	ポリオ	2回目
9日	インフルエンザ	西原中
10日	〃	西原小
11日	〃	坂田小
12日	〃	保育所
25日	D P T	2回目
26日	インフルエンザ	保育所

昭和51年の人口の移動(1月～12月)

	世帯数	月末人口	①転入	②転出	③社会増 ①－②	④出生	⑤死亡	⑥自然増 ④－⑤	人口増 ③＋⑥
昭50年 12月	3,043	13,249	—	—	—	—	—	—	—
昭51年 1月	3,067	13,391	181	64	117	34	9	25	142
2月	3,095	13,483	131	51	80	20	8	12	92
3月	3,126	13,592	200	108	92	24	7	17	109
4月	3,157	13,674	167	107	60	24	2	22	82
5月	3,190	13,797	170	60	110	21	8	13	123
6月	3,234	13,972	205	46	159	22	4	18	177
7月	3,272	14,130	181	48	133	26	3	23	156
8月	3,239	14,209	126	65	61	23	5	18	79
9月	3,306	14,259	96	71	25	31	6	25	50
10月	3,325	14,347	134	61	73	20	5	15	88
11月	3,344	14,417	111	63	48	26	4	22	70
12月	3,364	14,457	115	88	27	26	13	13	40
合 計	—	—	1,817	802	985	297	74	223	1,208

昭和51年の消防救急出動状況

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
消 防	1	0	4	4	4	3	2	3	0	1	0	4	26
救 急	25	23	23	20	23	20	19	23	17	16	18	25	252
合 計	26	23	27	24	27	23	21	26	17	17	18	29	278



新年のあいさつをする宮平村長

～新春名刺交換会～

新年を喜び、新たな発展を誓いあう村主
催の新春名刺交換会が1月4日に行なわれ
ました。

交換会には村内有志
の方々四〇〇人近くが
参加し、本村出身の平
良県知事も多忙なスケ
ジュールをさいて参加
され、会はいっそう盛
り上がりを見せまし
た。

多くの参加者が初春
に大いなる夢や意見を
かわし合い、すばらし
い西原村作りの話題に
花が咲きました。

村民の広場

注目される料理展示会

第四回を数える

村内のお母さん方の料理のウデも年々向上し、変化に富んだ食卓で、どの家族も大喜びと思いますが、村普及事業連絡協議会（宇久田朝秀会長）では、去る十二月十六日に、第四回料理展示会を開催、多数の参加者でにぎわいました。

今度出品された料理は、全部で五十二点で、各種漬物から、朝、昼、晩の献立を工夫した料理あり、又、カステラあり、砂糖テンブラ、シゲアンダーギーありで、見ても楽しい会場風景でした。

おりよく閉鎖式を終えた村老人学級の生徒のおじいさん、おばあさんがたが招待され「アッサミヨー、アッサミサル」とおいしい料理の山に舌つづみを打っております。



にぎわいを見せた料理展示会

西中女子卓球チーム準優勝

—昭和五十一年度県中学校卓球選手権—

本村の西原中学校（松田州弘校長）の女子卓球部のレベルの向上は近年いろいろと面白い話題をもたらしていますが、去る一月十六日に開かれた昭和五十一年県中学生卓球選手権大会では、決勝で沖縄市の美里中学校と熱戦を演じ、惜しくも準優

勝となりました。しかしながら、四年連続優勝を果たした美里中と三十二の接戦を演じた同校の実力は紙一重と、多くの観戦者の惜しみない拍手が送られました。好ライバルとして同校が美里中の五連破をはばむため、日ごろの練習で力をつけること

を期待したいものです。そして男子卓球部も女子にまけないよう奮起してもらいたいものです。

西原中学校女子卓球部の対戦結果は次の通りです。

準々決勝—西原中 3—0 仲西中
準決勝—西原中 3—0 コザ中
決 勝—西原中 2—3 美里中

又、女子は個人戦でもベスト8に三人も進出する頑張りを見せましたが優勝するには今一步の力が足りませんでした。今後の練習を……。

村老人学級生の皆さん

卒業おめでとう—学級無事終る—



老人学級・とう器作りより

二十三時間にわたる学級活動が、楽しい中にも真剣に取り組まれ村内外から大きな拍手を受けました。

学級活動の主な足跡を見ると、文化財、文化施設の見学、健康についての学習、民芸品の製作、等々バラエティーに富んだもので学級生の方々も、新しい知識や、人間的交流を高める場として、学級生としての喜びと誇りを口々に語っておりまして。

閉級式当日、五十二人の学級生の皆さんの表情は卒業する喜びの反面、また二年目の老人学級を内容も充実させて、早目に…との期待をこめたおもちでした。いっそうの御健斗を……。終了後は、折りよく開かれていた料理展示会場からの招待を受けて試食会に参加し、おいしい手料理に、新たな喜びようでした。

昨年六月二〇日に閉級され、五〇人余のお年寄りの方々が参加した村老人学級が、去る十二月十六日に無事閉級式を終えました。

この学級は自らを高める意欲に燃えた村内高齢者の方々を対象に教育委員会が主催したもので、玉那覇馨学級主事や安座間学級長を中心に、七週

ミニ・ニュース

坂田小の喜屋武清教諭
学校保健に関する功績
で表彰



喜屋武清教諭

去る一月十四日、那覇市の大道小学校で開かれた、第十三回沖縄県学校保健研究大会で、本村の坂田小学校（知念清校長）の喜屋武清教諭が同校保健主事としての学校保健の充実に大きな貢献があるとして表彰されました。

喜屋武先生の坂田小保健主事とし

婦人学級も閉級式

昨年七月二十六日から始った村婦人学級は同年十二月十三日に閉級式を終りました。

学級生は家庭の食生活、健康管理を共に研究し、すばらしい家庭作りを集った婦人の方々。十一週にわたって、当初二七時間の予定が、なんと三九時間と時間的にも、内容的にも目を見張る充実した活動となりました。

学級主事に大城静子さん、学級長に玉城美江子さんで活動した昭

和五十一年度の婦人学級、卒業者は二十七人でした。本村にも又、楽しい、すばらしい明るい家庭が多くなったようです。

西原小家庭学級

閉級式終る

昨年一月二十四日閉級された西原小学校PTAの家庭学級は、三十八時間の学級活動を終え、去る十二月四日、無事閉級式を終えました。

閉級式で卒業された学級生は三十五人で、新川雅博学級主事、小波津秀市学級長を中心に、約十週、三十八時間、学校教育や家庭教育についての課題に積極的に取り組んで、多くの成果をあげて来ました。次回からの同校家庭学級のいっそうの充実発展が期待されます。

告 知 板

老齡年金の受給者の皆さん

現況届は済みしましたか

国民年金の老齡年金は年四回に分けて、みなさんが指定した銀行や郵便局で支払われます。

この年金を引き続き受けるためには、年に一度、年金受給者現況届を提出していただくことになっています。本村の場合、提出先は西原郵便

局です。

この現況届は、昭和五十一年二月十五日以前から年金を受けている人が、引き続き年金を受ける権利があるかどうかの確認を受けるための大切な届で、これに必要な届用紙はすでに、お手もとに届いているはずで

す。二月十五日までに必ず西原郵便局へ提出して下さい。

この現況届がなされていないときは、昭和五十二年六月以降の年金がもらえないことがあります。まだの方はすぐ届をしましょう。

これからの飼料の

取扱いについて

このたび法律が改正され配合飼料及び自家配合飼料の取り扱いが昭和五十二年一月二四日から変わりましたので次の事項に気をつけて使用して下さい。

一、配合飼料中の飼料添加物

今までの飼料には、栄養成分補給剤（ミネラル、ビタミン等）、栄養成分の有効利用促進剤（抗菌性物質製剤等）及び品質低下防止剤（防ばい剤等）がたくさん入っていました。これからは、その数及び使用方法が制限されるようになりました。

飼料添加物を飼料に入れることが出来る場合は幼ビナ、幼畜だけに限られます。（図、参照）

二、配合飼料の表示方法

これからの配合飼料には、①一般成分および可消化養分（粗蛋白質、粗脂肪、粗せんい、粗灰分、可消化粗蛋白質、可消化養分総量、リン、カルシウム）の含有量②原材料名およびその配合割合③飼料添加物の名称等を表示することになりました。

三、自家配合飼料

原則として特定飼料（抗菌性物質

製剤、インド産落花生油かす）は飼料としては使えません。

四、飼料の使用法

対象家畜の表示してある飼料は、その家畜以外に使用してはいけません。

また、飼料には使用期限（用途別）が表示してありますので、期限がすぎたら使えません。

抗菌性物質製剤を含む飼料は、次のものには使用できません①産卵中の鶏②と殺する前七日間③他の抗菌性物質製剤を含む飼料と混ぜること。

五、畜産農家のみなさんに

次のことを心がけて下さい①家畜飼養衛生環境の浄化に努めよう②畜舎の消毒、畜体の消毒、ねずみ昆虫等の防除、予防注射の徹底等③家畜に対する観察の強化、疾病の早期発見④家畜のようすが普段と違うと

きは、獣医師への連絡を早めに行うこと。



幼すう、中すう用
(フ化後70日まで)



哺乳期用、子豚用
(生後4ヶ月以内)



哺乳期用、幼令期用
(生後6ヶ月以内)

詳しいことは村産業課等にお問い合せ下さい。

確定申告のお知らせ

昭和五十一年分所得税の確定申告は二月十六日から三月十五日までとなっております。

「申告はお早めに」されるようお願いいたします。なお申告についての説明会及び移動納税相談日は左記の通りです。

区 分	日 時	場 所	実施地域及び所得区分
説 明 会	二月四日 午後二時～四時 二月十日 午後二時～四時	首里農協ホール 西原村役場ホール	西原村、旧首里全域(営農業者その他所得者)
移動納税相談	二月十六日 午後十時～ 二月十七日 午後四時三〇分	西原村役場ホール	西原村全域(譲渡所得)

なお、署は申告期間中混雑が予想されますので、できるだけ西原村内で相談等を受けて下さい。

北那覇事務所

国民年金特例追納を早目に……

一カ年に十三万四千百円もソンをします。

今まで何でも国民年金の特例追納についてお知らせしてきましたが、特例追納の対象者でありながら追納をまだ行っていない方が、だいぶいるようです。

追納制度は、何度も言いますように、私たち沖縄県の国民年金が他府県に九年もおくれているため、そのおくれた期間を一月に一八三円の安い保健料を納めることにより、他府県の人たちがもらう年金と同じ額の年金をもらえるようにするのがネライです。

ですから追納対象者は、最高一万九千七百六十四円を一度納めただけで、国民年金支給対象の六五才以降は二四万六千円もらえるのに対し、未納者はたった一万九千七百六十四円を支払わなかったために、一生涯、毎年ごとに十三万四千円をソンのことになります。

村内にもまだ追納をしてない方がだいたいおられます。みなさんの近所で知らない方がおりましたら、知人、友人の方で教えあって三月三十一日までに村厚生課で追納をするよう、強く呼びかけいたします。

県政ひろば開催について

県の広聴広報活動の一環として県内を広域ブロックに分けて県の主要施策を説明するとともに全県的な問題を中心に県民の県政に対する建設的な意見提案要望を聴取し広く県政に反映させることを目的として左記のとおり実施することになっており本村からも字小波津一五八番地玉那覇恭子さんが「国鉄導入による貨物輸送のスピード化」と題して意見発表することになっており村民多数のご参加をお願いします。

なお当日意見発表出来ない一般参加者には当日「県政ひろば広聴カード」を配布し、広く県民の意見等を聴取することになっております。

記

一、日時 昭和五十二年二月十日
(木)午後一時～六時
二、場所 沖縄市福祉センター(沖縄市安ゲ田)

妊産婦の方は抗体検査を受けましょう

―風疹は恐いものです―

今年は風疹の流行が予想されています。妊産婦の方、とりわけ妊娠五カ月未満の方は風疹にかからないよう日常生活の用心が必要です。そのためにも妊産婦の方は必ず、母体が風疹に対する免疫状態にあるかどうかを知るために抗体検査を受けましょう。

那覇保健所では、二月十日まで、火、木、の午前中、妊産婦の抗体検査をやっています。また、二月十日以降は、月、水、の午前中に行います。

すぐ行きましょう妊産婦の方は。：

二月二十四日慰霊祭

北海道遺族団主催

北海道の遺族団の皆さん(約四〇〇人)が、二月二十四日、午前九時より本村西原の塔で戦没三十三回忌の慰霊祭を取り行う予定です。村内の遺族の方々の多数の参加を呼びかけ致します。

テレビ番組

「くらしとあなた」

二月放映

毎週土曜日午前八時から八時半まで琉球放送テレビで放映されます。

第一週…もつと食べよう

―イワシ、サバ―

第二週…食品を見なおそう

―東京都立志村高校

家庭クラブ―

第三週…資源とくらしを考える

―省エネルギー月間―

第四週…草の根の消費者運動を訪ねて

―高知―(テレビ高知制作)

村企画課

広報紙の充実のために
広く、村民の投書をお待ちしています。
意見、要望、等何んでもけっこうです。
その場合、住所・氏名
職業をお忘れなく。